

第57回北海道高等学校登山選手権大会兼第62回全国高等学校登山選手権大会北海道予選会開催要項

主催 北海道高等学校体育連盟・北海道教育委員会・北海道山岳連盟
 後援 美瑛町 上富良野町
 美瑛町教育委員会 上富良野町教育委員会 国立大雪青少年交流の家
 主管 北海道高等学校体育連盟登山専門部
 北海道高等学校体育連盟上川支部
 当番校 北海道旭川北高等学校
 070-0901 旭川市花咲三丁目
 Tel 0166-51-4620 FAX 0166-51-2818
 協力校 北海道旭川東高等学校 北海道旭川西高等学校 北海道旭川工業高等学校

- 1 期日 平成30年6月26日(火)～29日(金)まで
 2 会場 上ホロカメットク山～十勝岳 オプタテシケ山
 開会式他 6月26日(火) 大雪山白金観光ホテル
 美瑛町白金温泉 電話0166-94-3111
 宿泊 6月26日(火) 大雪山白金観光ホテル
 美瑛町白金温泉 電話0166-94-3111
 宿泊 6月27日(水) 国設白金野営場(顧問・生徒)
 美瑛町白金温泉 電話0166-94-3209
 国立大雪青少年交流の家(役員)
 美瑛町白金温泉 電話0166-94-3121
 宿泊 6月28日(木) 同上
 閉会式 6月29日(金) 国設白金野営場 (雨天時 国立大雪青少年交流の家)
 大会本部は国立大雪青少年交流の家に設ける。

3 研究課題 「観天望気の研究」

4 日程

1日目 26日(火)

- 11:00 受付開始 大雪山白金観光ホテルロビー 12:30まで
 12:00 専門委員会・安全対策委員会 大雪山白金観光ホテル 銀嶺・白銀の間
 13:00 開会式 大雪山白金観光ホテル 雪・月・花の間
 13:50 ペーパーテスト 男子 大雪山白金観光ホテル 雪・月・花の間
 女子 大雪山白金観光ホテル 大雪の間
 監督会議(ペーパーテスト、講演と同時進行で行います。) 銀嶺・白銀の間
 14:30 講演 「山に遊び、山に学ぶ」 高井勝巳氏
 大雪山白金観光ホテル 雪・月・花の間
 講演後会場撤去 天気凶担当の生徒以外は、会場撤去の後、各部屋へ
 15:30 天気凶審査(録音したものを利用) 大雪山白金観光ホテル 銀嶺・白銀の間
 17:30 夕食 大雪の間
 20:00 就寝

2日目 27日(水)

- 4:00 起床 朝食・昼食受け取り
 男女各隊は隊ごとにまとめた風呂道具をホテルに預ける。
 女子のメインザックもホテルに預ける。
 5:00 大雪山白金観光ホテル出発
 5:40 十勝岳温泉登山口着
 6:00 上ホロカメットク山・十勝岳登山開始(女子先発 男子6:10)
 男子は全荷行動 女子は日帰り装備行動
 9:30 上ホロカメットク山山頂
 11:00 十勝岳山頂着・昼食
 14:00 望岳台
 15:00 白金温泉着(顧問・女子隊はホテルにてメインザックを回収した後、国設白金野営場へ移動 徒歩10分程度)
 15:30 幕営審査
 16:00 炊事審査
 20:00 就寝

3日目 28日(木)

- 3:30 起床 朝食
- 5:30 国設白金野営場出発(女子が先にバス乗車)
- 5:50 美瑛富士・オプタテシケ山登山口着
- 6:00 登山開始(女子隊)
- 6:20 登山開始(男子隊)
- 9:00 美瑛富士避難小屋
- 11:00 オプタテシケ山山頂着・昼食
- 15:30 登山口着 バス移動 野営場にて風呂道具受け取り 入浴(白金温泉)
- 17:00 バス乗車
- 17:30 交流会(美瑛町交流センター たもっく)
- 19:30 終了 バス乗車
- 21:00 就寝

4日目 29日(金)

- 5:00 起床 朝食
- 8:00 審査委員会
- 9:00 テント撤収終了
- 9:40 閉会式(国設白金野営場 雨天時 国立大雪青少年交流の家)
- 10:00 解散

5 荒天対策

- 1日目 上富良野岳往復
- 2日目 美瑛富士避難小屋往復

6 参加資格

- (1) 北海道高体連に加盟している高等学校生徒で、全道大会参加の資格を得た者。
- (2) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志がある者。
- (3) 年齢は4月2日起算とし19歳未満であること。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 参加生徒は、健康診断を受け在学する校長が支障ないと判断した者とする。
- (5) その他は、北海道高等学校体育連盟の大会開催基準による。

7 パーティ編成

- (1) 1パーティー4名、高校の教員である監督1名。
- (2) 男子パーティーをA隊、女子パーティーをB隊とする。

8 表彰及び全道大会出場選考

- (1) 本大会での表彰は、男女とも最優秀校1校、優秀校を2校とする。
- (2) 本大会で優秀と認められた、男子1パーティー女子1パーティーを全国大会に推薦する。

9 携行品

- (1) 幕営に必要な野営用具・食料・非常食・その他一般用具
「全国大会に準ずる」(ピッケル・アイゼンは不要、ストックの使用は好ましくない。)
- (2) 地図は国土地理院25000分の1地形図「十勝岳」「白金温泉」を用意すること。原本以外はコピーで可。
- (3) 時計の高度計機能やGPS機能は使用しないこと。ウェアラブル端末・スマートフォン等の電子機器は大会中使用しないこと。カメラ機能は隊長の指示に従うこと。

10 記名様式

- (1) メインザック・サブザック・ザックカバーの外側中央に、学校名と選手の番号を記入した布A(縦10cm、横14cm程度)をつける。
- (2) 行動中に着用する上着の左腕に、布B(縦7cm、横10cm程度)または腕章をつける。雨具にも、外側の見えやすい場所に、必ず学校名が見えるようにすること。
- (3) テントの張り綱には学校名を記入した布C(縦30cm、横40cm程度)をつける。
- (4) 布は参加校で用意する。
* (1)から(3)は識別しやすく直接記入しても良い。

11 事故対策

- (1) 安全対策委員会を置き、安全登山に万全を期す。
- (2) 緊急を要する場合は、安全対策委員会要領により対策を講ずる。

12 その他

- (1) 出場前に選手に事故が生じた場合のみ、監督会議にて変更し補欠の出場を認める。ただし、参加申込書に記載された2名以外は認めない。
- (2) 本大会の計画書を2部作成し、受付の際に提出すること。
- (3) 天気図用紙は、必ず「気象協会1号様式」を用意すること。
- (4) 健康保険証または健康保険証のコピーを持参すること。
- (5) 各パーティの食事については27日の夕食、28日の朝食・昼食、29日の朝食を用意すること。28日の夕食は交流会として、当番校で準備する。
- (6) 顧問の27、28日の宿泊はキャンプ指定場所での野営になります。テント他の野営用具の準備をお願いします。ただし、役員の方は原則、宿泊施設を利用ください。野営等のご希望があれば、6月4日(月)迄に当番校にご連絡ください。
- (7) 役員の食事は用意します。ただし、行動食・非常食は各自でご用意願います。

13 付記

- (1) 各支部登山大会(地区予選会)の当番校は支部大会のプログラムを2部、道登山専門部(旭川東高校)へお送り下さい。専門部の資料といたします。
- (2) 無線機は大雪青年の家より借りる予定ですが、無線機があれば持参してください。無線機を持参される役員・顧問は、コールサインを参加申込書に記入してください。周波数は144MHZ帯を使用する予定です。
- (3) 連絡用に携帯電話を使用する場合があります。差し支えなければ参加申込書に携帯電話番号を記入して下さい。情報の管理には配慮します。

(無線は安政火口付近と化物岩の付近から本部(国立大雪青少年交流の家)まで通じません(十勝岳温泉駐車場には通じます)。300階段から先はほぼ全域通じます。オプクテシケ登山道はほぼ全域通じます。携帯電話もほぼ全域で通じます。)

14 参加申込

- (1) 参加申込書は旭川北高等学校ホームページ(<http://www.asahikawakita.hokkaido-c.ed.jp/>)より、ダウンロードして必要事項を入力後下記アドレスに送信してください。参加申込は6月4日(月)締め切りとします。

送信先 takenaka@hokkaido-c.ed.jp (旭川北高等学校 竹中正喜)

- (2) 参加申込書の正本を受付の際、提出してください。
- (3) 参加諸経費は6月11日(月)までに、下記口座に振り込んでください。なお、振り込み等に係わる料金をご負担ください。

北洋銀行 旭川中央支店
店番号401 口座番号 普通 4682847
口座名義 株式会社近畿日本ツーリスト北海道 旭川支店
〒070-0030 旭川市宮下通7丁目 TEL 0166-26-1902

〒070-0901 北海道旭川市花咲町3丁目 北海道旭川北高等学校
平成30年度全道高体連登山大会事務局
TEL 0166-51-4620 FAX 0166-51-2818

15 参加経費

	生徒	監督	役員
宿泊費(食事・入浴含む)	14,380	15,520	17,100
輸送費	5,920	5,920	5,920
参加料	1,500	0	0
合計	21,800	21,440	23,020

(役員の方で野営場に宿泊の先生は、幕営費800円を加算して入金して下さい)

- 16 帰りのバスは国立大雪青少年交流の家発旭川行き10:20発 13:05発があります。

全道大会(旭川)審査基準の確認について

道高体連登山専門部 登山大会審査基準の手引き(審査委員用) 抜粋

IV. 炊事(5点)

(1) 配点 作業点検で計5点

(2) 審査の視点

点検項目 炊事用具(コンロ)の整備状況・使用法・風防対策・安定装置・燃料の量(過多・過少は減点)、食料計画と実際の一致、内容の適性(レトルトのみ、過多は減点)、残飯・ゴミの量、腐敗対策、衛生的な調理

6月26日(火)～29日(金)の4日間、上ホロカメットク山、十勝岳、オプタテシケ山を舞台に全道大会(旭川)が実施されます。

2日目の上ホロカメットク山、十勝岳の行程において、男子は全荷行動となっております。各パーティともメインザック内の軽量化を図るための工夫がなされると思います。

炊事の審査において、上記アンダーラインの部分に関しては、**従来からの審査基準のように審査いたします。軽量化を図るためのα米やフリーズドライ食品(リゾット・カレー・チャーハン・麺類等)の利用やレトルト食品のみの食事、過多は減点対象となります**のでご了解くださいますようお願いいたします。

北海道旭川東高等学校
北海道登山専門部委員長 相田 敬史